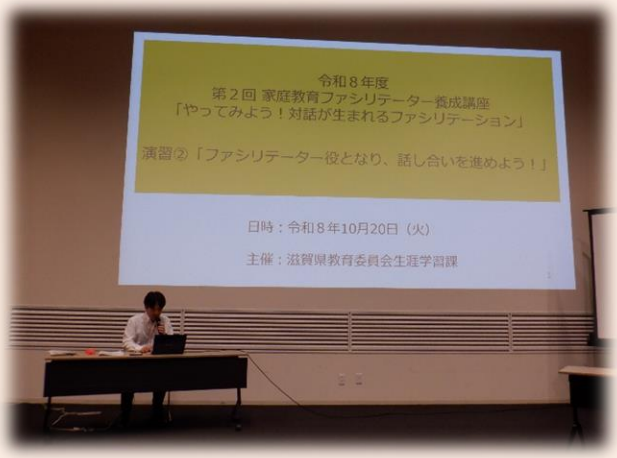
令和8年度 第2回 家庭教育ファシリテーター養成講座
「やってみよう！対話が生まれるファシリテーション」
開 催 報 告

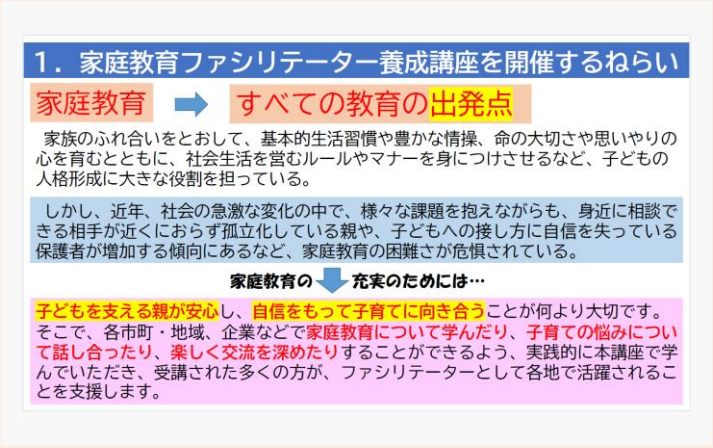
日　時	令和8年10月20日(火)14:00～16:30
会　場	米原市役所市民交流エリア　コンベンションホール
参加人数	15名(来場11名、オンライン参加4名)
内　容	○趣旨説明:学習講座、お話サロンの進め方について ○情報提供:「不登校とひきこもり支援について」 ○演習①:「気軽に話し合える雰囲気をつくろう！～アイスブレイクpart2～」 ○演習②:「ファシリテーター役となり、話し合いを進めよう！」 （不登校とひきこもり支援について）



当日の様子

【　説明　・　情報提供　】





＜不登校・ひきこもりの現状や支援の在り方についてお伝えしました。＞

【　演習①「気軽に話し合える雰囲気をつくろう！～アイスブレイクpart2～」】





＜アイスブレイクとして、「鼻つまみ」、「ラインナップ」、「ウォーハーピージュ」を行い、場が和みました。＞

【 演習②「ファシリテーター役となり、話し合いを進めよう！ 】






＜グループや全体交流で、不登校・ひきこもり支援について熱心にお話しいただきました。＞

【参加者の感想より】

〇アイスブレイクは、不安をもって参加されている人も、一時、そのことを忘れて参加できそうなので、どこかで使いたいです。
〇アイスブレイクの内容が参考になったので、機会があれば実施してみたいと思います。
〇ファシリテーター役をしてみて、はじめは、一人の意見の後に、みんなが自分の考えを加えていけば良いと考えて進めていましたが、順番を決めて活動の見通しがある方が、参加者の心理的安全性は高いように感じました。
〇今まで不登校やひきこもりについて、考えていたこととは、違う角度から御意見を聞かせていただいたことで、ひきこもりや不登校にも多様な形があることを知りました。
〇支える人を支えるということが家庭教育支援の基本だということをもう一度かみしめたいです。
〇自分の思い（自分の既成概念）の域を超えた意見や考えを聞き、自分の話も同じ参加者の方に広げていただき、すっきりとした気持ちを感じることができました。
〇学校と子どものギャップ、親と子のギャップがあるけれど、私たちは今目の前にいる子をきちんと見てあげること、支援につながるよう保護者さんと関われるように、「いつでもいるよ」というメッセージを届けることをグループで共有しました。

【問合せ先】

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課　地域・家庭教育係
TEL：077-528-4654
Emailアドレス ： sekimoto-tadatoshi@pref.shiga.lg.jp



におねっと 検索